

2月9日（金）放課後に、1年希望者向け看護志望大学説明会を行いました。岐阜県立看護大学から布施恵子先生にお越しいただき、看護師の仕事や大学の授業、県立看護大学の魅力や1年生の今からできる進学対策などについて分かりやすく教えていただきました。参加生徒の意識調査を資料に説明をいただき、他には無いその場の生徒に直結する内容で会が進められ、参加した生徒にはとても有意義な会になったと思われます。



【生徒の感想より】

・看護師の仕事は、心と体のケアということを知りました。私の周りには看護師の方がいらっしやなくて、具体的な話を聞いたことがありませんでした。しかし、心のケアもしていると知り、是非看護師になりたいと強く思いました。また、とても楽しそうだとも思いました。とても大変なことは分かっていますが、大変だけではないということも知ることができて本当に良かったです。

・私は看護師になることをずっと考えていたけれど、看護師をめざすにも、どのようなことを学んでいるかや、学校でどのようなことを行っているかまではまったく知らなかったし、看護師の他にも保健師や助産師の仕事、看護師との違いなどを知ることができました。看護の勉強だけではなく、人の生活や福祉、社会環境の勉強をして理解することも大切であり、また、患者の方が外国人の場合もあるということがわかったので、英語も大切だと思いました。

・今まで私の看護師のイメージは、病気を治すために治療をしたり、医師のサポートという印象がありました。けれど、それだけではなく、患者さんの心のケアを意図的にすることが大切なんだと思いました。豊かな心を作るには経験の積み重ねだとおっしゃっていました。今までの自分の体験をこれからに活かすために、しっかりと学んで、看護師になったときに役立たせていけるようにしたいです。

・私は自分の進路について看護師になりたいと以前から決めていても、具体的なことはまったく分からなくて、オープンキャンパスにも行きました。今回そこでも聞けなかった先生の実体験の話を聞いて、より患者さんのために自分で考えて動ける看護師になりたいと思いました。まだ高校1年生で、進路について考え選択していく時間は多くあるので、自分にできることを考えたり、学んだことを活かしていきたいです。好きなことだけでは無く、少しいやだなと思うことにも挑戦したいと思いました。